

「福まちだより」

テーマ バリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり

那覇市では、全ての市民が住み慣れた地域で、安心して暮らすことが出来るように、「福祉のまちづくり条例」のもと、様々な取り組みを行っております。

① バリアフリー調査（車椅子で利用できる施設や店舗の調査）

- ・ 調査結果を市HP「バリアフリー情報マップ」に掲載しています。
<http://www.gis.city.naha.okinawa.jp/welmap/index.html>

② 全ての人が過ごしやすいまちづくりを推進（イベント・啓発活動）

- ・ なはの日講演会シンポジウムの開催（ユニバーサルツーリズム バリアフリーに関すること）
- ・ 盲導犬受け入れに関する啓発（チラシ配布）
- ・ サービス介助セミナーの実施（市民向け・子供向け）

③ 福祉のまちづくり推進員との協働（市民・企業との協働活動）

- ・ 推進員として13名の方を委嘱し、企業・団体・市民公募を含む皆様に、協力していただいております。それぞれの職場や普段の生活で、取り組んでいることや気づいたことなど報告書で提出。会議では、意見交換が行われました。

平成22年10月19日（火）福祉のまちづくり推進員会議を行いました。

推進員のみなさんは、市民公募を含む13名、企業・団体でユニバーサルデザインをとりいれたり、高齢のお客様へのおもてなしを工夫するなど、独自の取り組みを行っている方々です。



会議の様子

メンバーのご紹介

親川 修（バリアフリーネットワーク会議）
浦崎 佳子（就労支援センターさわやか）
喜久里美也子（NPO 法人脳文庫）
小栗 由香（沖縄子育て情報ういず）
金城 成裕（株式会社NTT ドコモ）
坪内 隆史（ホテルJAL シティ那覇）
鈴木 栄児（リッチモンドホテル那覇久茂地）
豊見山安蘭（株式会社沖縄交通）
長田 貴子（株式会社JCC）
山城 範昌（美容業組合より推薦）
平瀬 早透（株式会社中央ツーリスト）
親川 育子（市民公募）
末吉 則子（市民公募）

※敬称略

福まちだよりに関するお問い合わせ先：那覇市福祉政策課地域福祉 G Tel 862-9002 fax 862-0383

推進員より市への提案

バリアフリー教育の実施

高齢化社会に向け、10年後を見据えた人材育成が重要。小中学生向けにバリアフリー教育を行う。（鈴木さん）

介護用食の勉強会

高齢化が進み、観光で訪れる方も、食事の多様化が進んでいる。市内飲食店向けに介護食に関する勉強会を実施してほしい。（坪内さん）

公共建築物の新築・増改築の計画に、障がい者の意見を取り入れて、より良い建物を作るよう、働きかけてほしい。（親川さん）

「ゆくてい〜ベンチ」の提案

ベンチのデザインやアイデアを募集しコンテストを行う。優秀な作品を、国際通りの店舗前に設置。（喜久里さん）

電動車椅子レンタル事業

国際通りは意外に高低さがある。手動式の車椅子は操作が大変。電動車椅子レンタル事業を提案。（坪内さん）

「ありがとう」や「BFに関する質問」など市民の声を受け付けるBOXの設置。（小栗さん）

障がい者用駐車場の利用について

駐車許可証の発行などを行い、ケガ人や妊婦さんでも止めやすい環境を作る。参考：琉球ジャスコ様（末吉さん）

福祉のまちづくり事業啓発の強化

情報発信を多様化して、市民のみなさんに知ってもらうことが重要。（長田さん）

ノンステップバスの活用について

市内で、ノンステップバスを運行している。車椅子利用者と介助者の方に、役立ててほしい。周知に関して協力を依頼（親川さん）

〜〜 その他にも貴重なご意見を多数頂きました。福祉のまちづくりの参考にさせていただきます〜〜

心のバリアフリーコーナー

お悩み解決book ゆうことカリンの「バリアフリーコミュニケーション」

「聴覚障がいの人をカラオケに誘うのは失礼？」「お手伝いを申し出たけど、断られた」など、障がいをもつ方への対応に戸惑った経験はありませんか？その戸惑いの解消にとっても参考になる本です。

聴覚障がいのカリンさんと、視覚障がいのゆうこさんが本音で書いた本で、わかりやすく書かれています。読んだ後「みんな一緒だ！まず話しかけてみよう」という気分になります。



（小学館発行）

ご存知ですか？

那覇市では、昨年度より「サービス介助セミナー」を行っております。実は…那覇市内、「サービス介助士2級資格」を持っている方や、セミナーを受けた方が、たくさんいらっしゃいます。（ご存知ですか？）

車椅子の操作方法や、高齢者疑似体験・アイマスク体験などを行い、接遇という視点で、対応や接客の基本を学んだ方々です。企業・団体・通い会など様々な団体で、セミナーを行っていて、受講者のみなさんは、密かに活躍中！ご高齢の方、車椅子ご利用の方、何らかの障がいを持ちの方や介助者の方。まちで困ったとき、「何かお困りですか？」と声をかける人に会えるかも・・・

